

2.1ch サブウーファー
スピーカーシステム

SW-6380

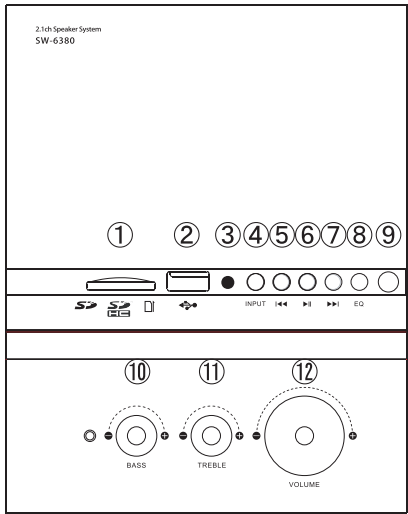
この度は、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。正しく安全にお使いいただくために、この説明書をお読み下さい。お読みになった後は、いつでも見られる場所に大切に保管して下さい。



各部の名称と使い方

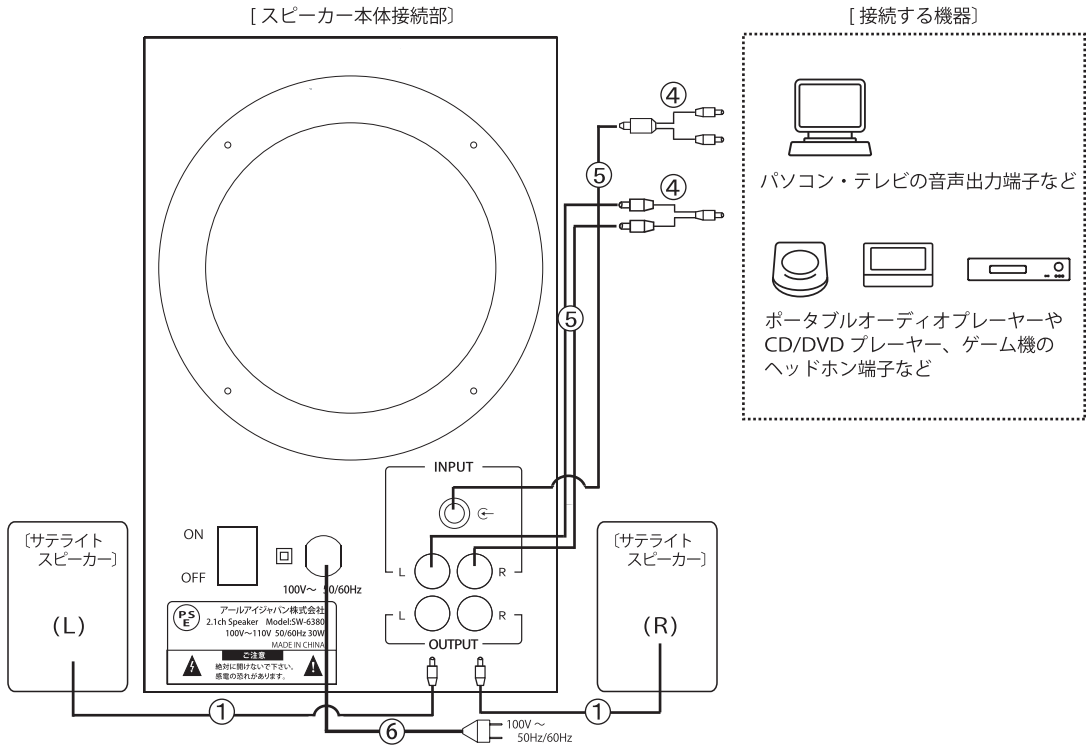
本機はサブウーファー × 1 / サテライトスピーカー × 2 (L・R) の 2.1Ch マルチメディアサウンドシステムです。
i-Pod などのポータブルオーディオプレーヤーや、パソコン、DVD プレーヤー、テレビ、ゲーム機等との接続が可能です。
サブウーファーに電源スイッチ・ボリュームコントロール（音量・低音域・高音域）が搭載されていますので、好きな音質で楽しむことができます。

〔本体前面〕



- ① SD &SDHC スロット（挿入口）
- ② USB 入力端子
- ③ (SD&SDHC&USB) インジケーター
- ④ 〈INPUT〉入力切替ボタン
- ⑤ [◀◀] 前に戻る
- ⑥ [▶▶] 再生・一時停止
- ⑦ [▶▶] 次に進む
- ⑧ [EQ] イコライザー設定
- ⑨ リモコンセンサー
- ⑩ BASS 低音域の調節ができます
- ⑪ TREBLE 高音域の調節ができます
- ⑫ VOLUME 音量の調節ができます

接続の方法



- ① 左右のサテライトスピーカーをサブウーファー側の“OUTPUT”に接続します。
- ② スピーカー電源及び接続先のすべての機器の電源を切ってください。
- ③ 本機の音量が最小になっているかご確認ください。
※必ず、本機のボリュームコントロールを操作し、音量が最小になっていることをご確認ください。接続時や電源を入れる際に大きな音が発生し、聴覚障害が生じたり、本体が破損することがあります。
- ④ RCAピンプラグ⇄Φ3.5mmステレオミニプラグを、接続する音源機器の音声出力（ヘッドホンアウトもしくはRCAジャック）に接続します。
- ⑤ 音源機器と接続した RCA ピンプラグ⇄Φ3.5mm ステレオミニプラグをサブウーファーの“INPUT”に接続します。
- ⑥ 本機の電源プラグをコンセントに差し込みます。

音源入力について

- 音源が外部入力の場合
 - ①スピーカーの主電源を ON にして、接続した音源機器を再生の状態にしてください。
 - ②本機のボリュームコントロールで音量を調整してください。BASS（低音域）/TREBLE（高音域）/コントロールで好みの音質に調整してください。
- 音源が「USB」「SD カード」の場合
 - ①スピーカーの主電源を ON にしてください。
※この時点での入力は「外部入力」となっています。
 - ②本体の「USB ポート」または「SD スロット」に再生させたい「USB メモリ」または「SD カード」を挿入してください。
 - ③「INPUT」ボタンを1回押すと、音源入力が「USB」または「SD」に切り替わります。
 - ④本機のボリュームコントロールで音量を調整してください。BASS（低音域）/TREBLE（高音域）コントロールで好みの音質に調整してください。

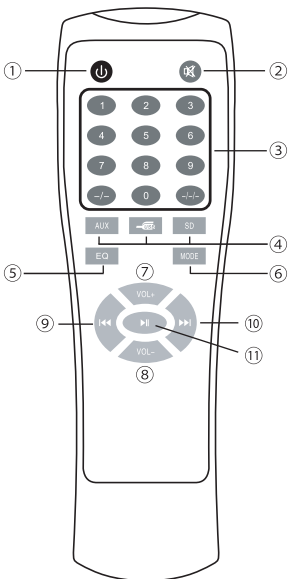
本体のボタン操作について

- 『INPUT』……音源入力を「外部入力」「USB」「SD」から選択します。
※主電源を入れた時点の入力は「外部入力」となっています。
- 〈音源接続が「外部入力」と「USB」の場合〉
●「外部入力」→「USB」の順に切り替わります。
- 〈音源接続が「外部入力」と「SD」の場合〉
●「外部入力」→「SD」の順に切り替わります。
- 〈音源接続が「USB」と「SD」の場合〉
●「外部入力」→「USB」→「SD」の順に切り替わります。
- ～補足～
○「USB」と「SD」の接続がない場合、『INPUT』ボタンは無効となります。
○主電源で電源「ON/OFF」の操作をした場合…次に「ON」にした際の音声入力は自動的に「外部入力」になります。
○リモコンで電源「ON/OFF」の操作をした場合…次に「ON」にした際の音声入力は「OFF」にした時点での入力モードとなります。

- 『▶▶』……次の曲に進む。
『▶|』……再生。一時停止。
『◀◀』……再生中の曲の先頭に戻る。前の曲に戻る。
『EQ』……イコライザ設定を選択します。
●「NORMAL」「POP」「ROCK」「JAZZ」「CLASSIC」「COUNTORY」の中から選択することができます。

- ～補足～
○電源を「OFF」にした時、設定は「NORMAL」に戻ります。

リモコン



- ① 電源（リモコンで電源を OFF にした際は、本体のインジケーターのみが消灯します。）
 - ② 消音
 - ③ 選曲
 - ④ 入力切替
 - AUX 外部入力
 - 「USB メモリ」入力
 - SD 「SD カード」入力
 - ⑤ EQ イコライザ設定
 - ⑥ MODE（本機では使用しません）
 - ⑦ VOL+ ボリューム（大）
 - ⑧ VOL- ボリューム（小）
 - ⑨ ◀◀ 戻る / 曲の先頭へ
 - ⑩ ▶▶ 進む / 次の曲へ
 - ⑪ ▶▶ 再生 / 一時停止
- ※USB / SD のみに有効

※リモコン用電池は付属しておりません。別途、お買い求めください。
（単4乾電池 × 2個）

製品仕様		
	サブウーファー	サテライト
実用最大出力	10W	6W (3W+3W)
スピーカーユニット	10cmフルレンジ (防磁タイプ)	7cmフルレンジ (防磁タイプ)
再生周波数帯域	30Hz～200Hz	200Hz～20KHz
入力端子	Φ3.5mmステレオミニジャック×1 RCAピンプラグ (L×1・R×1)	RCAピンプラグ (L×1・R×1)
カードスロット	SD / SDHC スロット×1	なし
ポート	USB入力端子×1	なし
出力端子	RCAピンジャック (L×1・R×1)	なし
外形寸法	W155×H235×D245(mm)	W99×H163×D60 (mm)
電 源	内蔵タイプ (50/60Hz・100V～)	
付属品	リモコン / Φ3.5mmステレオミニプラグ ⇄ RCAピンプラグ 取扱説明書 (保証書付き)	

仕様及び外観は予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい。取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合がございます。

保証書	
製品名	2.1ch サブウーファースピーカーシステム SW-6380
保証期間	お買上げ日より一年間
お買上げ日	2 0 年 月 日
お客様	お名前
	ご住所
	電話番号
お買上げ店名	印

保証規定：本保証書は、以下に記載される保証内容に基づき、保証期間内に生じた故障・破損に対し、無償対応するものです。

保証期間内でも以下の場合には保証の対象外とさせていただきます

1・取扱説明書に反した不適切なお取扱い・不当な修理や改造による故障及び損傷

2・お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷

3・火災・地震・水害・落雷その他天災地変による故障及び損傷

4・接続しているほかの機器に起因する故障及び損傷

5・業務用での長時間使用など、特に過酷な条件下にて使用された場合の故障及び損傷

6・本保証書の提示がない場合

7・本保証書の所定記入欄に記入がない場合、あるいは字句を書き換えている場合

万一、通常のお取り扱いにおいて故障が生じた場合は、上記保証規定に基づき、お買上げ日より一年間は無償対応いたします。この保証書を添えてお買上げの販売店またはサポートセンターまでお申し出ください。

アールアイジャパン株式会社 東京都文京区湯島 3 丁目 21-5

お客様サポートセンター フリーダイヤル 0120-688-843 (土日祝日を除く、AM10:00 ～ PM5:00)

注) 本書は日本国内のみ有効です。(This warranty is valid only in Japan) 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管して下さい。

トラブルシューティング

Q.電源が入らない

- ・電源プラグの差込みが不完全ではありませんか？
⇒電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

Q.音が出ない。音が途切れる。

- ・プラグとジャックの差込みが不完全ではありませんか？
⇒プラグを本機または音源機器のジャックに確実に差し込んでください。

- ・ボリュームが最小になっていませんか？
⇒ウーファーのボリュームコントロールを調整し、音量を上げてください。

- ・音源機器の電源は入っていますか？
⇒電源スイッチを押し、電源を入れてください。

- ・入力コードが音源機器の的確なジャックに差し込まれていますか？
⇒再生機器の取扱説明書で確認のうえ、確実に差し込んでください。

- ・音源機器の音量が最小になっていませんか？
⇒音源機器の音量を上げてください。

上記を点検後、なお異常がある場合は直ちに使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いてお買上げの販売店、または弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

⚠ 注意

- 本機は防磁仕様ですが、スピーカーの近くにカード類(キャッシュカードや定期券など)、テープ類(ビデオテープやカセットなど)ディスク類(フロッピーやMDなど)および磁気の影響を受けやすいものを置かないで下さい。データの損失や破損の原因となります。
- 表面が汚れたときは、水で薄めた中性洗剤を少し混ぜた柔らかい布で拭いて下さい。シンナー・ベンジン・アルコールなどは、表面を傷めますので使用しないで下さい。

安全にお使いいただく為に

(必ずお読み下さい)

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、以下の注意事項をお読みください。

- 表示の意味

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、けがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

- 表示の例

	△記号は注意 (警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な禁止内容 (左図の場合は感電注意) が描かれています。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止) が描かれています。
	●記号は行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容 (左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。) が描かれています。

 警告	
 電源プラグをコンセントから抜いて下さい	● 万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なにおいや音がするとき。機器の内部に異物や水などが入ったとき。本機を落としたり、ケースや電源コードが破損したとき。 すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店、または弊社サポートセンターへ修理をご依頼下さい。
 禁止	● 電源コードを傷つけない。電源コードの上に重いものをのせたりコードを本機の下敷きにしない。電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。 コードが破損すると火災・感電の原因になります。 ● 電源プラグにほこりをためない。 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因になります。電源プラグを抜いて、ゴミやほこりを取り除いてください。 ● 本機を布団などで覆った状態で使用しない。 熱がこもり変形したり、火災の原因になります。 ● 近くに雷が発生した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。 火災、感電、故障の原因になります。
 水場での使用禁止	● 浴室では使用しない。 ● 本機の近くに花びんや水などが入った容器を置かない。 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。湿度の多い場所での使用はしないで下さい。また水にはぬらさないようにして下さい。
 分解禁止	● 本機のカバーは絶対に外さない。 カバーを外したり改造すると、火災・感電の原因となります。

 注意	
 強制	電源を入れる前には音量を最小にする。 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
 禁止	● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。 ● 湿気やほこりの多い場所に置かない。 ● 調理代や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない。 火災・感電の原因となることがあります。 ● 長時間音が歪んだ状態では使用しない。 スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。 ● 電源コードを熱器具に近づけない。 コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。 ● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となることがあります。 ● 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らない。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ● 移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
 電源プラグをコンセントから抜いてください	● 長期間、旅行などで本機を使用しない場合は安全の為、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 ● お手入れの際は安全の為、電源プラグをコンセントから抜く。 感電の原因となることがあります。